

# たねや

## 2月18日【たねやグループ】 竹林整備ワークショップ実施のお知らせ

### 八幡山の美しい景観を取り戻すため

菓子製造販売のたねやグループ（CEO：山本昌仁、本社：滋賀県近江八幡市）は2019年2月18日（月）、同市北之庄町（ラ コリーナ近江八幡そば）の八幡山のすそ野に広がる竹やぶにて、従業員による竹林整備のワークショップを行います。この活動は、ラ コリーナオープン（2015年）より前の2013年にスタートし、今年で7年目の実施となります。

昔は里山の一部として地域の人々が手を入れ、資源として活用してきた竹ですが、昨今は竹の利用減少や人手不足などの理由で、放置されたまま荒れた竹林が問題となっています。そこで、たねやグループでは竹林の所有者の皆さんにお声掛けし、農業部門「たねや農藝」を中心に整備活動を始めました。この活動をきっかけに地域の方との交流も生まれ、切り出した竹はチップや粉にしてラ コリーナで循環利用しています。

毎年、約8400平方メートルの竹林を管理しており、整備は今後も八幡山の里山を守るため継続していきます。放置竹林は、近江八幡市に限らず各地で問題になっていると聞いております。対策の一例としてご覧いただけますと幸いです。



#### ワークショップの概要

- 日時 2月18日（月）14:00～17:00
- 場所 滋賀県近江八幡市北之庄町615-1  
ラ コリーナ近江八幡沿いの八幡山竹林  
（作業する竹林は全て所有者の許可を得ています）
- 参加 たねやグループ従業員
- ※終了時間は前後する可能性があります。
- ※取材にお越しの際は場所の詳細等お伝えしますので、事前にご一報をお願い致します。



#### 取材に関する問い合わせ先

たねやグループ社会部広報室 担当：田中・鷺尾・国領・望田  
TEL:0748-31-3844 E-mail:press@taneya.co.jp

【竹林整備を進めている場所】  のあたり（約 8400 平方メートル）  
八幡山の山すそで作業していると、年々竹が広がっているのを感じます。



【Before】 整備前の竹林

暴風や雪で倒れた竹がそのままにされ、  
鬱蒼としています。



【After】 整備後の竹林

見通しも良くなり、ごみの不法投棄も  
格段に減ったと実感しています。



【循環利用する竹チップ】



【SDGs について】

たねやグループは、持続可能な社会の  
実現に向け、ラ コリーナ近江八幡から  
世界へ発信していきます。



たねやグループ“SDGs”宣言

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です